

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's 広場

関連リンク

資料室



HOME | 資料室 | 一般教養 | 自己啓発 | 賀川豊彦 (13)

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

社会保障

労使トラブル法律相談Q&A

労働関係法

経営全般

人間関係とコミュニケーション

ライフプラン

男女共同参画

公務員関係法

日朝の歴史

7つの習慣

中東の歴史

ボランティア活動

環境活動

社会貢献活動

自己啓発

生涯学習

外交・防衛問題

資本論

教育カリキュラム

日本国憲法

賀川豊彦 (13)

情熱を持ってすべての個人の尊厳のために活動する賀川にとって、協同組合の民主的構造は心を動かさずにはいられませんでした。

一人一票制は、組合内では個人が同等の権限で意思決定に関わることを、そして貧富や出資金の度合いに関係がないことを意味しています。

最も貧しい者も、最も富んだ者と等しい発言力を持っています。

各組合員の購入額の割合に基づいて、利益を還付するというアイデアもありました。

個人が組合からの利益を貯め込むことはできず、利益は組合を所有し、それを利用する人々の間で分配されます。このようなビジネスの方法は、個人に力を与え、社会の富を大衆に分配するという賀川の社会改革の夢に対応するものでした。

労働組合は民主的な管理、つまり「労働の人間化」のための手段を提供しました。

同様に協同組合は、労働者の、労働者による、労働者のためのビジネスを提供します。

協同組合が、抑制なき資本主義と、資本主義を倒そうとする暴力革命との狭間にある「中道」なのだ、賀川が繰り返し強調したのはこうした理由からです。

中道としての協同組合を主張することは、賀川にとって極めて重大な仕事でした。

協同組合は理想と行動がぶつかり合うユニークな場でした。

なぜなら相互援助、経済的民主主義、社会的平等がこの事業の中に構造化されているからです。

14世紀にまでさかのぼる協同的営みの初期の形態は「講」として知られる一種の信用組織でした。

より現代的な信用組織形態の「報徳社」は農村改革者の二宮尊徳の手によって1843年に開発されていました。

ロッヂデールの先駆者たちが協同組合の小売店を設立したのとはほぼ同じ時代です。

ときには賀川は日本の協同組合にも手厳しい評価を下しました。

「日本の協同組合は役立たずである。

なぜなら、その指導者たちが完全に役立たずだからである。

デンマークの人々は多くのことを教えている。

協同組合が成功するのはその中心に精神があるからだ」と。

彼の宗教的、哲学的動機の探求と人々の信念の欠如に対する焦燥感からくる言葉だったのでしょうか。

1933年、協同組合経営者のための「日本協同組合学校」を設立します。

十分な管理運営能力の獲得を手助けするためです。

賀川豊彦45歳の時でした。

(つづく)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

🔍 サイトマップ 🔍 このサイトについて 🔍 個人情報保護の取組みについて

🔍 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE 【ワーカーズ・ライブラリー】

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.